

# おひさま BUN・SUN メガソーラープロジェクト第 1 弾概要

長野県がプロデュースしたプロジェクトで得られる技術面・事業運営面などの事業ノウハウを、岡谷酸素株式会社が積極的に公開、さらに、自然エネルギー信州ネットがわかりやすく整理・分析してビジネスモデルを全県へ普及するため三者協定を締結する。

## 1 設置概要

	豊田終末処理場	小川区公会堂
設備容量	約 1,013kW (約 1 MW)	6.0kW
想定年間発電量	約 1,183,560kWh (一般家庭 約 300 世帯分)	約 6,307kWh
貸付面積	19,286.5 m <sup>2</sup> (覆蓋 19,126.5 m <sup>2</sup> ・土地 160 m <sup>2</sup> )	約 50.0 m <sup>2</sup>
建設費	約 3.76 億円	約 260 万円
維持管理費	約 3.11 億円 (20 年間)	約 200 万円

## 2 プロジェクトの特長

- ポイント 1 小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電  
→県内に分散している公共と民間の屋根をブドウの房のように束ねて分散型メガワット発電を推進
- ポイント 2 売電収入の一部を県下全域の自然エネルギー普及活動に還元  
→売電収入の一部をおひさま BUN・SUN メガソーラープロジェクト経費 (分析・普及等) へ充当
- ポイント 3 事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及  
→自然エネルギー信州ネットが技術的情報を分析・整理、事業マニュアルも公開
- ポイント 4 民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場  
→モジュール設置角度変更、各モジュールメーカー発電状況を公開
- ポイント 5 現場見学会でビフォー・アフターもフル公開  
→工事着手直後、設置工事途中、設置後の概ね 3 回現場見学会を開催し、工事手法も公開することにより県内企業の参入や市町村の屋根貸しを促す。

### その他のポイント

- ・諏訪湖のブランド化を意識した発電所名称 (岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO LABO)
- ・発電所イメージキャラクターを地域の小学生を対象に募集予定
- ・小川区公会堂へ非常用電源装置設置 (20 年保守)
- ・下水処理場から生まれる材の活用方法の検証

## 3 経過

- 平成 24 年 10 月 30 日 豊田終末処理場等の屋根貸しによるメガソーラー事業者公募開始
- 12 月 6 日 事業候補者を岡谷酸素(株)に決定
- 平成 25 年 3 月 25 日 国交省から豊田終末処理場覆蓋 (補助対象施設) の目的外使用許可
- 3 月 27 日 売電単価 40 円/kWh (税抜き) 確定
- 5 月 1 日 諏訪建設事務所長と岡谷酸素(株) 賃貸契約締結
- 5 月 31 日 自然エネルギー推進に係る自然エネ協定締結 (県、岡谷酸素(株)、自然エネルギー信州ネット)
- 6 月 27 日 工事着手
- 7 月 29 日、10 月 10 日、12 月 17 日 現場見学会開催
- 12 月 3 日 発電開始式

## 4 屋根貸付額

- (1) 豊田終末処理場 年額 4,912,857 円
- (2) 小川区公会堂屋根 貸付料を徴しないが、同施設内へ非常用電源装置及びシステム一式の設置並びに当該設備の保守等を 20 年間行う。